

高校入試対策 中学社会

地理分野

学習プリント

中学校学習指導要領（平成 29 年告示）準拠

— 解答入り版 —

【 】の中が答えです。赤い下じきを当てると消えるので、くり返し確認できます。

「発展」のついた内容は、標準的な公立高校入試をこえるやや高度な内容です。

難関私立・上位校をめざす人だけ取り組めば十分です。

目次

■ A 世界と日本の地域構成

第1章 地球のすがたと世界の地域構成

第2章 世界の国々と国の成り立ち

第3章 日本の位置と時差

第4章 日本の領域と都道府県

■ B 世界のさまざまな地域

第5章 世界の気候と人々の暮らし

第6章 世界の宗教と生活文化

第7章 アジア州

第8章 ヨーロッパ州

第9章 アフリカ州

第10章 北アメリカ州

第11章 南アメリカ州

第12章 オセアニア州

■ C 日本のさまざまな地域

第13章 地域調査の手法と地形図の読み方

第14章 日本の自然環境と自然災害

第15章 日本の人口

第16章 日本の資源・エネルギー

第17章 日本の産業

第18章 日本の交通・通信と貿易

第19章 九州地方

第20章 中国・四国地方

第21章 近畿地方

第22章 中部地方

第23章 関東地方

第24章 東北地方

第25章 北海道地方

第26章 地域の在り方

■ 巻末資料

巻末資料① 都道府県データ

巻末資料② 地理 用語チェック 100

◆この冊子の使い方

- ・【 】の中が答えです。赤い下じきを当てると消えるので、くり返し確認できます。
- ・「書きこみ用」は同じ内容が空らんになっています。答えを書きこんで練習しましょう。
- ・各章の終わりの「◆確認」は、答えを見ないで説明できるかをためすための問いです。
- ・地図帳を横に置き、地名が出てきたらそのつど位置を確かめましょう。
- ・「発展」のマークがついた文は、まずマークのない部分を確実にしてから取り組めば十分です。

第1章 地球のすがたと世界の地域構成

六大陸と三大洋

区分	名称	覚えるポイント
六大陸	ユーラシア大陸／アフリカ大陸／北アメリカ大陸／南アメリカ大陸／オーストラリア大陸／南極大陸	面積は大きい順にユーラシア→アフリカ→北アメリカ
三大洋	太平洋／大西洋／インド洋	最大は太平洋。「太」と「大」を書き分ける
六州	アジア／ヨーロッパ／アフリカ／北アメリカ／南アメリカ／オセアニア	州は人の暮らしによる区分。大陸の区分とは別

※陸地と海洋の面積の比はおよそ3：7。北半球は陸地が多く、南半球は海洋が多い。

■ 1 地球のすがた

- ・地球の表面のうち、陸地と海洋の面積の比はおよそ【3：7】。
- ・北半球は陸地が多く、南半球は【海洋】が多い。
- ・地球一周（赤道の長さ）は約【4万】km。

◆六大陸

面積の大きい順に、【ユーラシア】大陸→【アフリカ】大陸→【北アメリカ】大陸→南アメリカ大陸→【南極】大陸→【オーストラリア】大陸。

※オーストラリア大陸は六大陸のなかで最も【小さい】。

◆三大洋

- ・【太平洋】…世界最大の海洋。日本の東側に広がる。
- ・【大西洋】…ヨーロッパ・アフリカと南北アメリカの間。
- ・【インド洋】…インドの南に広がる。

■ 2 六つの州

- ・大陸の区分とは別に、人々のくらしのまとまりで【アジア】・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・【オセアニア】の六州に分ける。
- ・アジアとヨーロッパの境目はおよそ【ウラル】山脈。
- ・アジア州はさらに東アジア・【東南】アジア・南アジア・【西】アジア・中央アジアに分けられる。

■ 3 地球儀と世界地図

- ・【地球儀】…面積・形・方位・距離をすべて正しく表せる。持ち運びに不便。
- ・世界地図は平面なので、【すべてを同時に】正しく表すことはできない。

◆主な図法

- ・【メルカトル図法】…角度が正しい。航海図に利用。高緯度ほど面積が【大きく】表される。
- ・【モルワイデ図法】…面積が正しい。分布図に利用。
- ・【正距方位図法】…中心からの距離と方位が正しい。航空図に利用。

※正距方位図法では、中心から見た【最短経路】が直線で表される。